

2023年9月29日

各 位

ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について ～総額35億円のシンジケートローンを組成～

当社は、株式会社福岡銀行(取締役頭取 五島 久)をアレンジャーとするポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約を本日締結いたしましたので、お知らせいたします。

<ポジティブ・インパクト・ファイナンスの概要>

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。企業の活動、製品、サービスによる SDGs 達成への貢献度合いを評価指標として活用し、開示情報に基づきモニタリングを行い、その活動を支援していくことが特徴です。

本契約については、株式会社福岡銀行と株式会社 FFG ビジネスコンサルティングが評価を実施し、評価にかかる手続きのポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性について、株式会社日本格付研究所から第三者意見を取得しております。

当社は、お客様の「普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく」という経営理念のもと、事業活動を通じてサステナブルな社会の実現への貢献に取り組み、企業価値の向上を目指してまいります。

<本契約の概要>

契約締結日:2023年9月29日

組成金額:35億円

融資期間:5年

資金用途:運転資金

アレンジャー:株式会社福岡銀行

契約金融機関:株式会社福岡銀行、株式会社北九州銀行、株式会社肥後銀行、株式会社大分銀行

<指標と目標> 2030年度までに以下の KPI を達成する

環境面の KPI	<ul style="list-style-type: none">・リユースにつながる家庭内在庫の受け入れ・寄付活動の店舗実施率を、2030年までに100.0%とする・資源の店頭回収店舗実施率を2025年までに30.0%、2030年までに100.0%とする・プラスチック備品使用抑制による、CO2排出量を2025年までに2021年対比20.0%削減、2030年までに2021年対比50.0%削減する・自家消費型の太陽光発電設備設置件数を2025年までに10.0%、2030年までに30.0%とする・自然冷媒冷什器の店舗導入率を2025年までに10.0%、2030年までに25.0%とする・社用車のエコカー導入率を2025年までに15.0%、2030年までに100.0%とする・物流部門(ドライ配送)における売上原単位あたりのCO2排出量を2013年対比で2025年20.0%削減、2030年23.0%削減する
環境面・ 社会面の KPI	<ul style="list-style-type: none">・PB商品におけるサステナブルな商品の売上高構成比を2025年までに10.0%、2030年までに30.0%とする・PB商品の家庭紙において持続可能な認証原料の利用率を2030年までに100.0%とする・PB商品の飲料PETボトルにおいて持続可能な認証原料の利用率を2030年までに100.0%とする・授乳スペース設置率を2030年までに100.0%とする・休憩スペース設置率を2030年までに100.0%とする・自己申告の仕事・職場環境等における肯定的回答率を2030年までに85.0%とする
社会面の KPI	<ul style="list-style-type: none">・正社員全社離職率を2030年までに5.5%まで低減する・情報セキュリティに関する教育の実施数を2030年までに年4回実施する・コンプライアンスに関する理解度の測定数を2030年までに全従業員、年2回実施する・ビジネスパートナーへの自社方針の周知率を2030年までに100.0%とする
社会面・ 経済面の KPI	<ul style="list-style-type: none">・災害協定締結率を2030年までに100.0%とする・女性管理職比率を2030年までに20.0%とする・男性社員の育休取得率を2030年までに100.0%とする

以上